

いつも熊本日日新聞をご愛読いただきありがとうございます。

今回は金婚式を迎えられたご夫婦を紹介します。今月14日に「熊日金婚夫婦表彰式」が各町村で開催されました。多良木町で28組、あさぎり町岡原地区で5組、湯前町で11組、水上村で13組でした。金婚、誠にめでたうございます。

### 第58回熊日金婚夫婦表彰式 50年の歩み 伴侶に感謝

TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI OKAHARU

球磨ん  
タイムズ

地域と読者の架け橋

OKAHARU TARAGI YUNOMAE MIZUKAMI

編集・発行  
熊日多良木販売センター  
球磨郡多良木町大字多良木 356-1  
TEL 42-3355 FAX 49-1726  
http://www.taragi.com/  
熊日湯前販売センター  
球磨郡湯前町中里 1830 TEL 43-2151  
代小出堅太郎 石田敏郎 尾前竜二  
那須信一 編集：岩水由香

球磨んタイムズは当社ホームページでもご覧頂けます。また facebook ではコーナーごとに掲載中。「熊日多良木販売センター」を検索して下さい。

#### あさぎり町岡原南 鶴本幸伸さん レイ子さん

農業一筋で頑張ってきた鶴本さん御夫婦。結婚生活50年を迎えられ、「あっという間の50年でした」と幸伸さん。お金も物も無く、苦労が絶えない時代を過ごされてきましたが、それでも「夫婦二人三脚で困難を乗り越え、何とかやってきました」とレイ子さん。51年続けてこられたタバコ農家を、現在は息子さん夫婦と4人で切り盛りされ、今後も生涯現役のタバコ生産者として頑張っていきたいと話されています。昔は、「口じゃ言えない苦労も沢山あったし、妻にも迷惑をかけてきた」。レイ子さんも「色々あったけど一生懸命仕事に打ち込む主人を見て、この人で良かった」と若いころを振り返られていました。3人の子宝にも恵まれ、現在は8人のお孫さんと2人の曾孫さんの成長を楽しみにされています。また御主人の趣味のひとつで、大病をきっかけに始められた水泳は、8年目を迎えられ、それ以来病気をすることもなく、通院知らずとか。健康あつての人生。これからお互い手を取り合って仕事に趣味に「ぼちぼち」頑張りたい(笑)。と話されていました。



#### 水上村岩野 福田光一さん 征子さん

50年の苦労を全く感じさせず、いつも笑顔の福田さんご夫婦。水上の同じ職場で知り合い、愛を育み結婚。娘さんが2人、今では孫さんが3人おられます。「50年間で一番嬉しかった事は、結婚10年目でやっと子どもを授かった事です」と話をされるご夫婦。それまでには大変な苦労があったようですが、2人共に手を取り合い、互いを思いやり、助け合ってきた。現在、光一さんは区長をされ8年目になるそうです。支えて頂いた地域の人へ感謝の気持ちを込め、少しでも恩返しできたらと続けられています。今の楽しみは毎日の晩酌で焼酎が大好き。「よか薬です」と言われる通り、健康で入院した事もないそうです。征子さんは、長年ボランティア活動を続けられていて、村内だけではなく幅広く活躍されています。孫さんとの日頃の会話が毎日楽しみで癒されているそうです。「人生のさつたごと生きればよか」とご主人が言われた言葉が印象的で、これからは2人の共通の趣味であるゴルフと旅行を楽しんで、孫の成長を喜び、健康に注意しておもしろ楽しく共に生きていけたら最高ですと笑顔で話をされるご夫婦。これからも益々活躍される事を期待しています。



#### 多良木町多良木 河内 満さん 美代子さん

幼馴染だったという満さんと美代子さんが結婚されて50年。満さんは、昭和39年から現在のJAに勤務され、当時米の生産者農家に、い草の生産・振興を勧められ、上球磨地区をい草生産地としての発展に多大なる功績を残されました。その後メロンの生産・振興にも携わられ、栽培面積も100町にもなり、上球磨広域選果場を建設し、初代の選果場長を務められました。その頃美代子さんは、3人の子供さんの子育てをしながら、米と麦の栽培をしておられました。と同時に満さんの、1日の睡眠時間が4時間ぐらいという多忙な毎日に、健康面で心配しておられました。しかし、良い職場の先輩や、生産者のおかげで頑張ることが出来たそうです。その後、息子さんが結婚され、孫さんも誕生され、現在家族3世代で暮らしておられますが、何より「良か嫁さんにきてもらったことが一番」と美代子さん。今は2人とも健康で、球磨農業高校のOBで夫婦講金に行ったり、その中のメンバーでグラウンドゴルフをするのが楽しみです。そして「今が一番幸せです」と口をそろえて嬉しそうでした。



#### 湯前町 深水俊市さん 博子さん

深水さん夫婦は永年、米作や牛の繁殖など、農業を中心に頑張ってきた。昭和35、6年頃の上球磨地区では、農地の基盤整備が行われ、機械化が進められていました。その当時はまだ珍しかったトラクターを操縦していた俊市さんは、昭和40年頃から受託農家として奮起され、その翌年に博子さんとご結婚されました。

まだ19歳だった博子さんにとって、義理のお母様から、料理やお花など、様々なことを教えてもらったことが、とても思い出深く残っているそうですが、ご実家ではガスの炊飯器を使用していたけれど、ここでは不慣れな羽釜でお米を炊かなければならず「そのことが一番の苦労でした」と、振り返られています。その後平成11年から、俊市さんは4期に渡って町議会議員を務められ、町の発展に尽力されました。同時に博子さんは煮しめや饅頭、弁当などの食品加工所を立ち上げられ、平成21年には「くまもとふるさと食の名人」に、県から認定を受けるなど、それぞれの分野でご活躍されてきました。そんな博子さんを「文句一つ言わず、苦しい時もあつたが耐えてくれた。ありがたい」と、俊市さんは感謝されています。苦労したり、頑張ってきた分「自由が一番幸せ」と話す、深水さん夫婦。これからは大好きな温泉や旅行などに行きたいと話されていました。



COOL美図  
COOL = かわこい 美 = beautiful

犬童 萌湖さん (21歳)  
あさぎり町

- ★趣味 走ること
- ★特技 書道、ピアノ
- ★マイブームは? アルバム作り♡
- ★今、頑張っていることは? ボランティア活動 (陸上の審判、指導など...)
- ★好きなスポーツ選手は? 服部勇馬 (陸上選手)
- ★休日は何をしていますか? ショッピング、ランニング
- ★今までで一番思い出に残っていることは? 東京マラソン
- ★これからの目標・夢は? 「あなたがいてよかった」と思われる救急隊員になることです!
- ★最後に一言どうぞ 今年度は地震の影響で県民体育祭が中止になりました。練習を積まれていた方もおられたかと思いますが、今年の分は来年の大会で発揮しましょう!! (来年は人吉球磨が会場です。) 私も出場目指して頑張ります!!

Vol.17

次のページへどうぞ



# 新聞記事を楽しむ!

～記事と本から課題を探してみんなで話し合った～



**町指定重要文化財 「諏訪神社本殿」**

諏訪神社は、正和4年(1315)頃に創建といわれていて、建御名方富命・八坂刀女命の二柱を祭神とされています。文明年中修造、弘治2年(1556)に拝殿の造営、永禄5年(1562)代官藤原長友、同満房丸などがに現在地に遷宮して再興したと伝えられています。当地方の諏訪神社は、二柱祭柱に対応するように全国的にも珍しい二間社となるのが特色です。一方、正面部では、柱を4本立てて3間社風に見せるなど、外観の工夫が見られる点が興味深いところ。現在は棧瓦葺ですが、当時は柿葺きだったそうです。

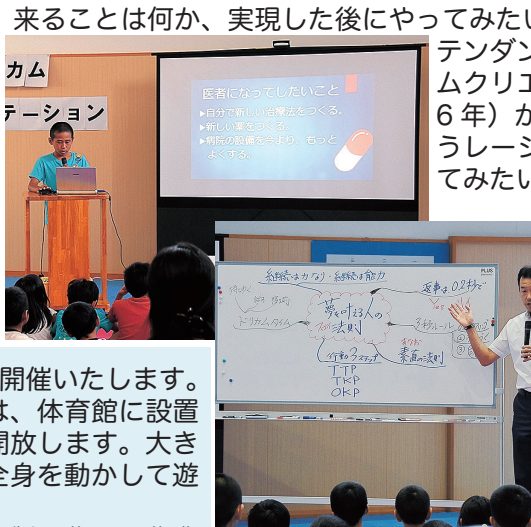
【読書・新聞の秋。勉学の秋。進路決定の秋。もらった。」と紹介されていた。それから、最近発行された元熊本県立劇場館長、鈴木健二さんの《気づばりのすめ三十四年目》の本に、1972年、大手新聞社から原稿の依頼を受けた折、「家族は常にお互いの目を見合わせ、愛し合い、いたわり合って暮らしていかなければなりません。それが最もよくできるのは、食事の時間です。『お願いします。食事のときは、テレビを消してください。』と掲載を依頼した。今はそれ以上に声を大に、『本を読んでください』と叫びたい。」と述べられていた。この文章を配り、読み、各自の課題を探し、その課題を深く考え、課題に対する意見を述べ合う授業を行った。すると、「恥ずかしいこととは何か」、「教養とは何か」、「この時代なげ本なのか」など目的とした答えが各自の言葉で返ってきた。次は、「相良三十三観音」巡礼を基に、その課題の答え探しに進むように提案した。

(原稿提供：多良木高等学校 川北禎一先生)



## ドリカムプレゼンテーション 「15年後の未来、15年後の自分」

慈光明徳会・慈光学童クラブ(藤岡孝史代表)の小学5年から6年生までの児童11名が、今月10日湯前町の慈光こども園で、自分の夢について発表する「ドリカムプレゼンテーション」を行いました。パワーポイントという、グラフや表などをスライドの形式にして作成できるソフトを活用し、自らの夢=目指したい職業について、何をどこで学ぶか、実現に向けていますぐに出来ることは何か、実現した後にやってみたいことなどを発表。医者、一級建築士、キャビンアテンダント、美容師など多彩な職業名が挙げられる中、ゲームクリエイターになりたいと発表した中渡蒼空君(湯前小6年)が最優秀賞を受賞しました。「ゲキドライブ」というレーシングホビーをゲーム化し「世界中の人々と対戦してみたい」と夢を語ってくれました。



プレゼンテーションの審査員を務め、普段から同学童クラブで様々な教育指導を行っている、幼児活動研究会(株)日本経営教育研究所の八田哲夫所長による「夢を叶える人のスゴイ法則」と題した講演が引き続き行われ、発表者を含めた児童たちや、その保護者らにも、夢をメモなどにして持ち歩くことや、継続することの大切さについて説明。来年以降プレゼンテーションに臨む下級生たちも、真剣な表情で話を聞いていました。

## 「くましえん祭」のお知らせ



(昨年度のくましえん祭の様子)

平成28年10月23日(日)に「くましえん祭」を開催いたします。9時30分から14時30分までの予定です。祭では、体育館に設置した海をテーマとした遊び場を地域の子どもたちに開放します。大きな滑り台をすべったり、トンネルをくぐったりして全身を動かして遊びましょう。

中学部と高等部は、現在、くましえん祭で販売する製品作りに作業学習で取り組んでいます。当日、中学部紙工班は「年賀状やカレンダー」を販売します。高等部農園芸班は「花苗や寄せ植え」、窯業班は「皿や茶碗、湯飲み」、工芸班はフェルトを使った「ミニポーチ」、木工班は「テーブルや盆、コースター」など、様々な手作り製品の販売をします。また、PTAや賛助団体による「うどんやパン、惣菜」などの販売も行います。ステージの部では、本校児童生徒(小学部・中学部・高等部)や外部団体の楽しいステージ発表も計画しています。皆様、お誘い合わせのうえ、是非おいでください。(原稿・写真提供：球磨支援学校)

**暖談なあ**

「天災は忘れたころにやってくる」。この時期、よく話題になる寺田寅彦の警句です。◆今年はどうでしょう。忘れるどころか、地震の恐怖がまだ鮮明なうちに台風12号の襲来。多良木や湯前などに1000ミリを超える雨を降らせたものの、大した被害がなかったのは何よりでした。◆原稿締切日の15日時点では台風16号が発生し、どんな進路をとるのか心配させられましたが、今年のは、いきなり北海道に上陸したり、迷走したりと油断禁物です。◆とくに異例づくめとされる近年の気象の荒っぽさ。超スロースピドだった12号も、予報で注意を促していたほど風が強く吹かずに済んだのは不幸中の幸いと言えましょうか。◆熊本地震もまだ終息宣言は出ていないし、例年ですと列島を襲う台風は9月から10月が最盛期。平凡ですけれど、万一の備えや心構えだけはしっかりとっておくというところに尽きますね。(X)

## 多良木警察署だより 秋の全国交通安全運動実施中!!

実施期間 平成28年9月21日(水)～平成28年9月30日(金)

運動の基本 子供と高齢者の交通事故防止

運動の重点 1 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止 2 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底 3 飲酒運転の根絶



※9月30日(金)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。運転者は思いやりのある運転を行い、交通事故防止に努めましょう。

次回の発行日は10月8日(土)予定です。お楽しみに!!

(原稿提供：多良木警察署)